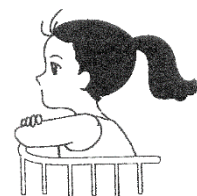


第26回全国のつどい in 和歌山

実行委員会ニュース NO.5



第26回登校拒否・不登校問題全国のつどい in 和歌山 実行委員会事務局 発行 2025. 7. 20
事務局連絡先 〒640-8319 和歌山県和歌山市手平 6-112-1 新堀作業所横丁 NPO 法人エルシティオ
TEL 073-432-2170 FAX 073-424-5449 メールアドレス tsudoi2025@npoelsitio.com

分科会づくりが本格的にスタート 第26回全国のつどい第5回実行委員会



最高気温が35度を超える中、埼玉、千葉、東京、滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山から60人が集まり、第5回実行委員会が開かれました。(7月6日和歌山ビッグ愛りいぶる会議室)
恒例の自己紹介のあとは分科会についての説明があり、休憩を挟んで、分科会ごとに分かれて話し合いを行いました。どこに入るか迷い中の方も、ひとまず当日の気持ちや雰囲気が入りたいところに参加し、自己紹介や分科会で何を大切にしたいかなどを話し合いました。

実行委員長あいさつ 越野章史さん(和歌山大学准教授)

本当に暑いですね。遠くからもお休みの日にご苦勞様です。

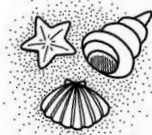
来るとき、車に乗ってきていて、この熱気はなんやと。私が子どもの頃はこんなに暑くなかったと思います。子どもの頃はクーラーがなかったけれど普通に過ごしていましたし、夏休み中に30度を超すことは少なかったと思います。毎年毎年、少しずつ暑くなっていて、そのことに気づかない。

熱いお湯の中にカエルをつっこむと熱いと飛び出してしまうが、水から少しずつ熱くすると、カエルは気づかずに煮えてしまう。夏の暑さだけでなく、学校や子どもたちの生きる世の中も、過ごしづらい、生きづらい世の中になっているのではと思っています。私たちが声を出すことが大切で、一人ひとりの悩みや苦しみを大事にしながら、つどいづくりを進めていきたい。

今日から分科会づくりが始まりますが、じっくりゆっくり話せる分科会にしていくために、話し合いを進めたいと思います。今日も夕方まで、よろしくお願いします。

第5回実行委員会で話し合われたこと

(★は説明や提案、☆は提案のあと出た意見などです)



1 分科会等について説明

★分科会と言うと、研究会や研究発表があるかと思いますが、そうではありません。つどいの分科会は基本的に交流会です。話がしやすいように12の分科会に分かれています。

分科会どこに入ろうかと迷っておられる方もいると思いますが、今日出たから絶対ここに出ないといけないということでもないの、関心のあるところに参加してください。

★「分科会づくりにあたって 世話人のみなさんへ」を読み合わせ

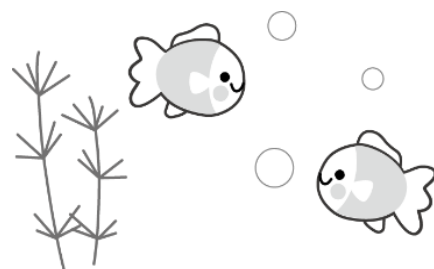
(以下、項目のタイトルとスケジュールを掲載します)

はじめに

1. つどいに参加されたみなさんに依頼して、分科会等をすすめて下さい
2. 参加者はすべて対等平等です
3. 分科会等で、何かを決議するようなことはしていません

分科会の運営で確認したいこと

1. 録音や撮影について
2. 報道関係について
3. 分科会等での資料などの配布物について



分科会の各担当について

・連絡係、司会、記録、速報係、お弁当係、分科会まとめ係

分科会の今後のスケジュール案（くわしいことは今後決定します）

| 7 月 | 9 月 | 10 月 | つどい本番 | 2026 年 1 月 予定 |
|---|--|------------------------------------|---|---|
| 7 月 6 日 第 5 回実行委員会 分科会世話人 初顔合わせ | 9 月 7 日 第 6 回実行委員会 分科会打ち合わせ | 10 月 5 日 第 7 回実行委員会 分科会打ち合わせ | 10 月 25・26 日 25 日 11:00 「つどい」本番前 分科会世話人 打ち合わせ 25 日 20:30 分科会各 1 名 分科会と事務局の 合同会議 報告号まとめ 原稿〆切 月 日 | 第 8 回実行委員会 「つどいのまとめ」 「つどい報告号」 作成・発送（全国連） |
| 初顔合わせ どんな分科会にし たいかを話し合う 分科会世話人名簿作成 | 分科会連絡係と 役割・分科会の流 れについて相談 分科会世話人名簿作成 | 分科会の流れにつ いて相談 分科会世話人名簿作成 | | |
| 分科会世話人 を増やす | | | | |

☆参加者が当日持ち込む資料について、どのような対応になるか。

★事前に申込をされた方には、参加証を発送する際に、整理した文章を入れることが可能。当日直接参加する人はどうするか、事務局会議で検討します。

2 分科会ごとに分かれての話し合い（分科会名称は略しています）

- 【1小学生】慣れた方と信頼のできる先生がいたので、スムーズに話げできた。初めて来た人にも話しやすい分科会をつくりたい。
- 【2中学生】今日は自己紹介で終わった。お互い同じ中学生の親同士で悩みを共有できたら。
- 【3高校生】今日のメンバーは和歌山1人と大阪4人。大切にしたいことは、ひとり一人話しやすいように。特に初めての人が話しやすいように、まずは和歌山の親から口火をきってもらいたい。
- 【4障がい】今日は2人で、分科会担当さんにも入ってもらって話。自己紹介して、発達障害のことなども出てくるので、参加した人が話しやすいように、話したい人が話せるようにしたい。
- 【5学校とのかかわり】去年急に増えて、分散会をもつように。学校がますます大変になってきているので、参加者が増えるかも。親と先生と支援者と、話題提供してくれる人を決めたい。和歌山の親がいないので、うちの子こんなやでと話をしてくれる人急募。
- 【6青年期】たくさん参加していただけるかと思ったら蓋開けたら初参加2人で、どうやっていこうか、はっきりわからず。参加者が安心して胸の内を話せるようにしたい。記録係、どなたかに入ってほしい。
- 【7進路と自立】4人で話し合い。具体的な役割分担はまだ。立場いろいろ。現実小学生の子の親も参加してもらったが、自立って、何？ なにをもって自立と考えるかと、そこから話。小学生なので、いますぐどうでなく、力をつけていくこと？ 今のところ、情報をあつめて、学校にとらわれず、探していくというお話を聞き、それぞれ自立を考えながら話をした。
- 【8居場所A】子ども食堂など、不登校に限定しない形での地域の居場所について話した。学齢期の居場所については、自分の子どもが小中の時「学校は行けないけど友達ほしい」と言い、そういう居場所をつくりたいと思った。今も同じことが言えると思う。そういう思いを居場所の中心にしたい。今日は連絡係を決めただけになった。



- 【8居場所B】 支援1人、親3人の4人で話し合い。親の体験から、親として頼れる、子どもが安心していける、どんな居場所が求められているかを話し合いたい。話題提供として、居場所からの報告を考えています。地域と行政との連携なども話ができれば。連絡係決めた。
- 【9親・家族】 大阪2人で打ち合わせ。私のはじめて参加したのがこの分科会で、当時、体験したしんどい思いを話し、初対面の人の前で大泣きした。その時の私のように、初めての人も安心して思いを出してもらえる場にできたらと。和歌山の人助けてください。
- 【10手をつなぐ】 2人で打ち合わせ、自己紹介をただけで終わり。連絡係は決まった。どんな分科会にしたいかの打ち合わせは次回の9月にしたい。
- 【11医療】 3人で打ち合わせ。大切にしたいことは親が安心して話をできる場をつくる。自分ひとりではないと思えるようにしたい。専門家を呼ぶかどうかで議論。専門家がいると、その人を頼る。その人しか見ないし、親同士が交流できない。気づきでなく教えてもらうことになって、よくないので、私たちだけでやろうと。部屋に入りやすいようにする。気づきや学びあいの分科会にしたい。
- 【12非行】 小学校の先生1人、親2人で話し合い。参加を決めているのが私だけ。よもやま話をして終わった。非行の実態変わってきていて、いま起きていることを出し合った。出し合う中で、もうこの分科会で一番大事にすることは今日話せたなっていう感じだが、問題は世話人集め。私の他には大阪の方1人の名前だけしかないので、どうやって世話人を広げるかが課題。
- 【ひろば】 2人で打ち合わせ。今回部屋が1つなので、ちょっと持ち方が難しいなと話し合った。前回の京都は人数が少なかったもので、それくらいの人数ならいいが、今回は和歌山。子どもの居場所も多く、和歌山のプラットホーム部の活動などもある。そういうメンバーが参加するとなった場合どうなるかと。9月・10月の打ち合わせでもう少し詰めていきたい。
- 【速報】 印刷機について話し合った。2日間で 14～15号くらい出す。分科会には人数分を速報係がおいでいくので、話が途切れた時などに配布をお願いします。当日感想用紙が配られ、書いてもらった感想は、まずは世話人で読んでいただき分科会づくりに活かしてもらおう。その後、速報係に届けていただいて、それを速報の原稿にする。県文は21時までで、残りを宿舎でつくることになる。2日目の朝の機械調達を検討する。
- 【受付】 3名で打ち合わせ。どれだけの方が受付をお手伝いしてくださるか。来てくださる方が、しんどい思いを抱えてやっと来られた時に、和歌山弁で「よく来てくれましたね」ということを伝えられたら。それを大切に受付の段取りをしたい。
- 【基礎講座1家庭】【基礎講座2学校】は今回世話人がいなくて話し合えていません。



3 各手続き等の進捗状況

- ★後援承認済みの県教委と市教委に、学校へチラシの配布を要請。市教委の連絡ボックスを使って、市内の全小中学校と市立高校などの全学級に配布予定。県教委は、メールでチラシのPDFを各学校・支援員、県下の各教育委員会にも配信予定。
- ★全国団体へは協賛依頼済。協賛金は各地でお声かけいただいている、ぞくぞくと集まっている。現地和歌山では、まずはつどい参加を呼びかけ。参加できない場合、協賛もお願いする方法でやりたい。
- ★助成金
日本教育公務員弘済会(和歌山支部)の助成金申請済。
県の観光連盟は、宿泊合計300泊以上あれば補助金が出る。市の助成金は、市内ホテルの宿泊証明を各自がホテルからもらう必要がある。アナウンスしますので、宿泊予定の方は、よろしくお願いします。なお、この補助金は宿泊者に出るのではなく、「つどい」に補助金が出るものです。
- ★A4のカラーチラシを作成しました。要項から必要事項を抜粋して作成しています。ホームページ(右 QR コード)からダウンロードもできますが、必要な方はご相談ください。



